

# 日経産業新聞

2014年(平成26年)  
11月14日  
金曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

## ホテルのサイトで交通案内

### キャブ、50件導入目標

15年7月

ホテル向けシステム開発のキャブ(東京・千代田)はホテルへの交通案内システムを拡販する。IPアドレスで利用者の所在地が判別できる機能

を活用し、ホテルまでの交通案内を自動表示するサービスを提供。2015年7月期までにホテルや旅館など50件の導入を目指す。

拡販するのはホテルへの交通案内システム「おもてなしコンテンツ」だ。パソコンで利用者が目的地のホテルのサイトにアクセスした際に、IPア

ドレスから利用者がいる都道府県を判別できる機能を使う。この機能を活用して利用者の最寄りの空港や駅からホテルまでの乗り継ぎ方法や所要時間をホームページに自動表示する。

「おもてなしコンテンツ」は4月に沖縄県のロワシールホテル那覇(那

覇市)などで採用された実績がある。このほどホテルミクラス(静岡県熱海市)、ホテル日航東京(東京・港)、ハウステンボス内にあるウォーターマークホテル長崎(長崎県佐世保市)でも導入が決まった。今後はホテルだけでなく、旅館にも売り込み、顧客の開拓を強化していく。